**７．　数字・曜日（４）**

**～Telling an Original Story～**

目的：タスクを通して、好きな数字を使ったオリジナルストーリーを作り、全体の前で発表

ができる。

対象：小学５年生

時間：４０分

準備：画用紙　曜日カード　単語カード　数字カード(１~２０)　ペープサート

　Caterpillarのぬいぐるみ

**このタスクの進め方**

○Pre-task

１．絵本に出てくる食べものを導入する。

２．教師がペープサートやCaterpillarのぬいぐるみを使い、“The Very Hungry Caterpillar”を読む。 黒板上に、月曜日～土曜日に食べたものを貼り、数字が増えていることを気づかせる。数字が出てくるたびに、“How many?”と児童に尋ねると良い。

３．児童は、どんな食べものをいくつCaterpillarに食べさせたいかを考え、その食べものを画用紙に描く。ただし、食べものは絵本に出てくるものから選ぶ。

４．次に、その食べものの名前を単語カードから一つ選ぶ。数字カードから選び、画用紙にのりで貼る。このとき、ペアになり自分の選んだカードが合っているか確認すると良い。

５．６人グループで集まり、１~２０の数字の小さい方から並び替える。数字の小さい方から順に月曜日～土曜日の曜日カードを画用紙に貼る。

○Task

１．名詞の複数形の言い方を黒板に貼ってある食べものを使い、確認する。

２．次に６つの曜日ごとにグループを作り、絵本に出てくる表現を何度も練習する。ただし、月曜日のグループの中には違う数・食べ物を描いた児童がいるため、教え合いながら練習させる。

３．もとのグループに戻る。児童同士で絵を見せ合いながら、読む。

４．全体の前で、Caterpillarのぬいぐるみを使いながら、発表する。

５．できあがった絵を半分に折り、６枚まとめてのりで貼り、一冊の絵本にする。

On Monday, he ate through one apple, but he was still hungry.

On Tuesday, he ate through two pears, but he was still hungry.

On Wednesday, he ate through three plums, but he was still hungry.

On Thursday, he ate through four strawberries, but he was still hungry.

On Friday, he ate through five oranges, but he was still hungry.

On Saturday, he ate through six sausages, but he was still hungry.